

越

乙未、お秋ハ、華江ノ道遠ニテ  
帰リ、本居此巻ニ泊

旅がけ

輕食ニテ山家哉

越の前金津より細呂本の  
山をり夕陽のむら秋夜  
こわくくうんれい  
さびくに地地のいそ  
旅ハ愛——おうくふわ  
北秋ノ中

庚子冬月ハ位かれ  
葺き性の飛とひき  
魂棚の雪も思に——  
又とら

らけに最々氣清——盒の秋  
静くや本種ニ

蛭野

